

第2編

基本構想

第1章

あわら市の目指すまちの姿

第1節 基本理念

あわら市はこれまで、豊かな自然、創作の風土、歴史ある温泉、そして温かい人々に支えられながら、住みよいまちづくりを進めてきました。

一方で、私たちを取り巻く社会は、これまでにない速さで変化を続けています。人口減少や少子高齢化、災害リスクの増大、生活様式や働き方の多様化など、地域社会が直面する課題は年々複雑さを増しており、それはあわら市においても例外ではありません。

こうした変化に対して、あわら市の魅力を次の世代へつないで、これからも市民がずっと住み続けたいまちであるためには、未来を見据えた取組と、課題に対して前向きに「挑戦」する姿勢が欠かせません。

あわら市は市民のみなさまとともに、目まぐるしく変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、あわらの持つ魅力を高め、持続可能なまちづくりを進めるために、本構想の基本理念を次のとおり掲げます。

あす

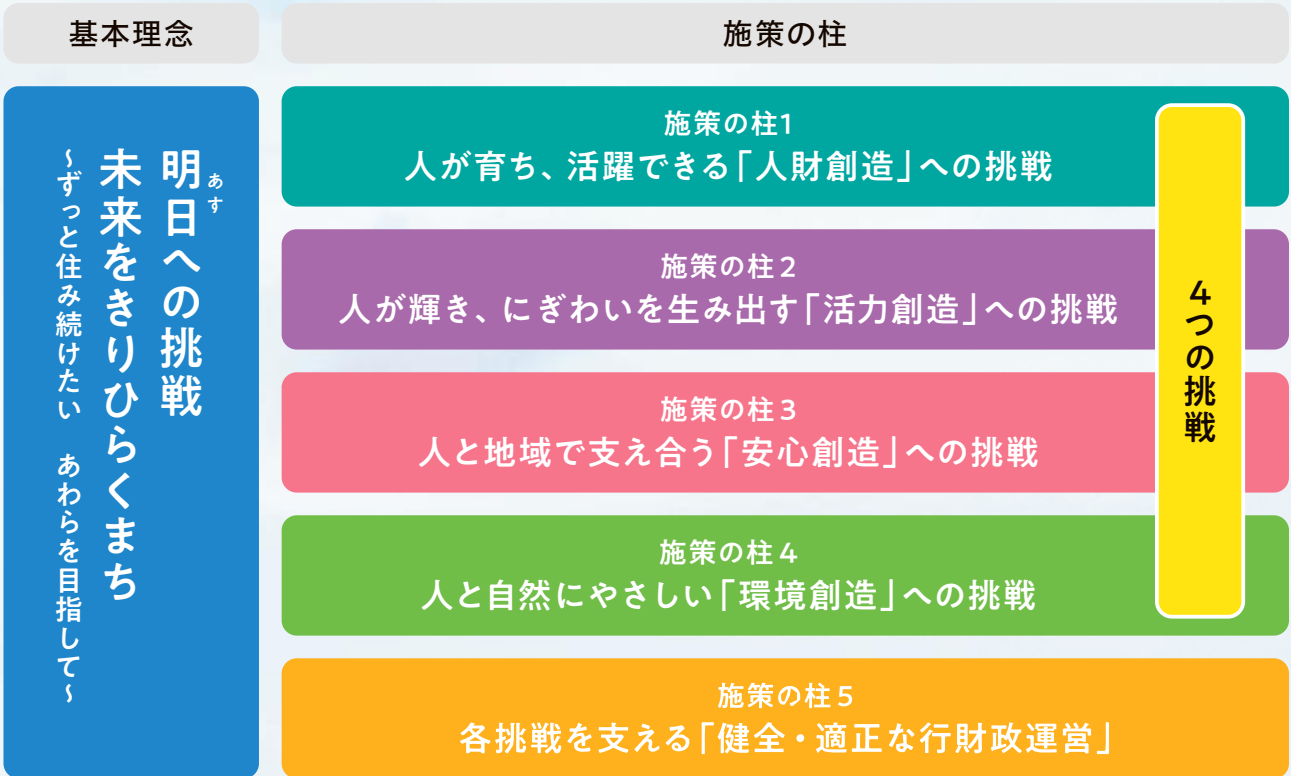
明日への挑戦

未来をきりひらくまち

～ずっと住み続けたい あわらを目指して～

第2節 基本目標

本市のまちづくりの基本理念に基づき、4つの挑戦にそれらを支える行財政運営を加えた5つの施策の柱を、10年後の基本目標として設定し、体系的に取り組を進めます。



施策の柱

1

人が育ち、 活躍できる 「人財創造」 への挑戦

年齢や経験に関わらず、
誰もが学び、挑戦し、
自分らしく活躍できるまちを
目指します。



10年後の目指す姿

子どもや若者は、地域の人たちに見守られながら、夢や目標に向かってのびのびと成長します。学校や家庭、地域が一体となり、学ぶ楽しさや、人とのつながりを実感できる環境が整います。

社会に出てからも、学び直しや新しい挑戦ができる機会があり、世代を超えて支え合い、刺激し合う関係が広がります。文化や芸術、スポーツなどを通して地域と関われる場が増え、一人ひとりが自分の個性や能力を活かして輝けるまちになります。

また、性別や障がい、国籍に関わらず、誰もが尊重される社会が築かれています。あわらの魅力を感じて移り住む人や、ふるさとに戻って活躍する人も増え、地域の中に新しいつながりとにぎわいが生まれています。市民一人ひとりが「誰かに任せる」のではなく、「自分がつくるまち」として関わり、地域をより良くしていこうとする輪が広がっています。



**あわら市は、
人が育ち、活躍できる
「人財創造」のまちづくりに
挑戦します。**

10年後の目指す姿

あわら温泉を中心とした観光は、訪れる人だけでなく、暮らす人にとっても誇りとなる存在です。あわら温泉街や芦原温泉駅、坂井北部丘陵地、北潟湖、吉崎御坊跡などがつながることで、四季の美しさや人の温かさに触れながら、回遊性と満足度が高まります。訪れた人が「また来たい」と思うような体験が増え、観光業で働くことも魅力的に感じられるようになります。

農業・林業・水産業では、自然とともに生きる産業として新しい担い手が育ち、若い人や移住者が地域の未来を支える力になっています。観光との連携によって地元の食材や風景の価値が高まり、農地や森、湖や海がしっかりと守られながら、新しいにぎわいが生まれています。

商工業では、地元の企業と新たな人材が協力し、挑戦と成長が続くまちになっています。企業誘致や創業支援が進み、若者や女性、高齢者、移住者など多様な人が自分らしく働ける環境が整っています。地元で働くことに誇りを持つ人が増え、U・Iターンによる定着も進み、まちの経済に新しい循環が生まれています。



**あわら市は、人が輝き、
にぎわいを生み出す
「活力創造」のまちづくりに
挑戦します。**



施策の柱

2

人が輝き、 にぎわいを 生み出す 「活力創造」 への挑戦

地域の観光・農林水産業・
商工業と人がともに輝き、
まち全体に活気と笑顔が
あふれるまちを目指します。

施策の柱

3

人と地域で 支え合う 「安心創造」 への挑戦

誰もが安心して
暮らし続けられるまちを
目指します。

10年後の目指す姿

災害に強いまちづくりを進めることで、もしもの時に地域全体で助け合える体制が整っています。日ごろからの備えや訓練を大切に、市民と行政が力を合わせて防災・減災に取り組むことで、命と暮らしを守る力が育っています。

また、防犯や交通安全の意識が高まり、子どもたちが安心して登下校できるまち、誰もが思いやりを持って行動するまちが広がっています。高齢者や障がいのある人も、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう支援が行き届き、地域の中に自然な助け合いの輪ができています。

妊娠・出産・子育て期から高齢期まで、ライフステージに合わせた切れ目のない支援が整い、すべての世代が心も体も健康でいられるようなまちづくりが進んでいます。

必要な人に必要な支援が届く社会保障の仕組みも充実し、誰もが安心して暮らし、希望を持って未来を描けるまちが実現します。



**あわら市は、
人と地域で支え合う
「安心創造」のまちづくりに
挑戦します。**



10年後の目指す姿

豊かな山や海、湖などの自然環境を大切にしながら、市民・事業者・行政が協力して環境を守り、再生する取組が進められています。ごみの減量やリサイクルが当たり前になり、まちはいつも清潔で、美しい景観が保たれています。

市内には、誰もが安心して使える公共交通や道路、河川の整備が進み、安全で便利に移動できる環境が整っています。災害に強い水道や下水道の整備も進み、どんなときも安心して水を使えるまちが実現しています。

公園や緑地が市内のあちこちに整備され、四季の自然を感じながら散歩や交流を楽しむ人の姿が見られます。駅周辺や住宅地では、自然と調和したまちなみが広がり、暮らしの中で「景色の美しさ」や「心のゆとり」を感じることができます。

また、空家の活用や住宅の耐震化が進み、誰もが安全に、安心して暮らせる住まいが整っています。今から住む人も、今まで暮らしてきた人も、自然に寄り添いながら快適に暮らせるまちづくりが進んでいます。



**あわら市は、
人と自然にやさしい
「環境創造」のまちづくりに
挑戦します。**

施策の柱

4

人と自然に やさしい 「環境創造」 への挑戦

人と自然がともに生きる、
やさしさと豊かさにあふれた
まちを目指します。



施策の柱

5

各挑戦を支える 「健全・適正な 行財政運営」

効率的な行政運営により
安定した財政基盤を構築し、
市民に寄り添った行政サービスを
将来にわたり持続させる
まちを目指します。

10年後の目指す姿

将来世代に過度な負担を残さず、質の高い行政サービスを安定的に提供し続けることができるよう財源の確保や選択と集中による事業の取捨選択により、効率的で効果的な財政基盤を整え、持続可能な行財政運営を確立します。

「誰一人取り残さないデジタル化」を進め、高齢者や子育て世代も安心して行政サービスを利用できる環境を整えます。

市民と行政が双方向でつながるコミュニケーション手法を確立し、行政からの情報提供の充実を図り、意見・要望などに迅速に対応できる仕組みづくりに取り組みます。



**あわら市は、
健全・適正な
行財政運営を目指し、
まちづくりへの挑戦を支えます。**

